

公益社団法人 日本柔道整復師会

近畿・大阪学術大会

第 49 回近畿学術大会滋賀大会/第 18 回大阪学術大会 発表応募要項

公益社団法人日本柔道整復師会 近畿大阪学術大会

| | |
|-------|-------|
| 大会会長 | 長尾 淳彦 |
| 実行委員長 | 杉尾 裕司 |
| 学術委員長 | 川戸 典知 |

1. 大会名

公益社団法人 日本柔道整復師会

近畿・大阪学術大会

第 49 回近畿学術大会滋賀大会/第 18 回大阪学術大会 (柔道整復・接骨医学)

2. 会場

キラリエ草津 草津市立市民総合交流センター

525-0032 滋賀県草津市大路二丁目 1 番 35 号

電話：077-561-7700

3. 開催日時 令和 8 年 10 月 11 日 (日)

〈開始時間につきましては決定次第ご案内します〉

4. 応募資格 柔道整復・接骨医学に関心のある者

5. 応募内容

①発表テーマ 柔道整復・接骨医学に関するもの

(未発表のもの、ただし今までの発表論文の追試を含む)

②大会形式 WEB 配信を含めた単一会場制

③発表形式 口演発表、事前収録による発表、実技発表

④発表時間 発表 8 分以内、質疑応答 3 分以内

⑤症例報告 *CARE ガイドラインに準拠した報告にすること

*『CARE ガイドライン症例報告執筆ガイド』および『症例報告のためのエコー検査手順』を参照してください。

⑥研究発表 研究的視点に関するもの

⑦関連業務報告 非臨床領域の取り組みを対象とする

6. 発表申し込みと発表関係書類

発表申込書および承諾書は必要事項を記入して、各府県で取りまとめの上、第 49 回近畿学術大会滋賀大会/第 18 回大阪学術大会 滋賀大会事務局 (以下、近畿・大阪学術大会 滋賀大会事務局または滋賀大会事務局) に提出してください。

申込書提出をもって WEB 上への公開 (動画配信含む) に同意したものとします。

詳細について、各府県学術担当者または滋賀大会事務局にお問い合わせください。また、その他注意事項については、「論文集掲載原稿作成要項」を参考にしてください。

7. 演題の採否決定

採否の決定は、第 49 回近畿学術大会滋賀大会/第 18 回大阪学術大会学術委員会 (以下、学術委員会) で行います。

8. 論文集掲載原稿と写真・図の提出

「論文集掲載原稿の提出」

論文原稿は別項「論文集掲載原稿作成要領」に沿って作成し、締切期日を厳守して提出してください。

「写真・図・表」添付資料の提出

論文に挿入する写真・図・表などは、Wordに貼り付けてデータで提出してください。写真・図・表の枚数は論文集の電子ブック化に伴い制限なしとしますが、枚数が多くなる場合には図表そのものでなくリンク先を掲載することによって図表や動画も掲載可能とします。

そして、論文原稿と写真などの元データを一緒に提出してください。なお、発表スライドデータは論文集掲載原稿と一緒に提出しないでください。

9. 発表形態

発表は学術委員会準備のパソコンを使用します。詳細は別項「発表に関する注意事項」を参照してください。

10. リハーサル

担当座長との打ち合わせを大会当日に予定しております。詳細は各府県学術担当者または滋賀大会事務局にお問い合わせください。

11. その他

提出された論文原稿および添付資料は返却いたしません。演者分は、コピーして保管してください。

12. 応募の締切 令和8年4月13日(月) 必着,

各府県で取りまとめ、近畿・大阪学術大会 滋賀大会事務局まで応募してください。

13. 論文集掲載原稿の締切 令和8年4月30日(木) 必着,

各府県で取りまとめ、近畿・大阪学術大会 滋賀大会事務局に提出してください。

14. 発表スライドデータの締切 令和8年8月28日(金) 必着.

各府県で取りまとめ、近畿・大阪学術大会 滋賀大会事務局に提出してください。

15. 論文集の発行 令和8年8月下旬頃予定

16. 提出先

〒520-0816 滋賀県大津市相模町2-37

公益社団法人滋賀県柔道整復師会

近畿・大阪学術大会 滋賀大会事務局宛

電話 : 0775-25-3550 FAX : 077-525-3683

e-mail : shiga-js@nike.eonet.ne.jp

◎郵送の場合は簡易書留等をお願いいたします。

論文集掲載原稿作成要領

論文集掲載原稿について

① 手書きの原稿は受け付けていません。パソコン (Windows 10 以降のOS) のMicrosoft Wordを使用し作成してください。

② 書体はOSに標準のものを使用してください。

③ 令和8年4月30日(木) までに、論文集掲載原稿データをe-mailに添付して、各府県経由で提出してください。

④ 内容は未発表のもの、追試発表、学理的なもの、その他とします。
(論文原稿の約束事項について)

- 1行目 …… 演題
- 2行目 …… 副題（ない場合はあける）
- 3行目 …… 所属
- 4行目 …… 氏名（共同発表の場合は最初に発表者を記載してください）
- 5行目 …… 1行あけてください
- 6行目 …… 本文
- 最終頁 …… 参考文献， キーワード（5つ以内）

簡単なプロフィール*

※プロフィールについて

- ①日本柔道整復接骨医学会会員また認定柔道整復師は記載可。
- ②機能訓練指導員認定柔道整復師は記載可。
- ③国家資格は記載可。
- ④他の資格などで、論文内容にそぐわないものは、記載不可。

掲載については学術委員会で協議し削除させていただく場合があります。

○演題・副題は中央揃えとします。

○所属について、府県名を記載してください。

○論文の文章中の句読点はカンマ「，」とピリオド「．」を用いてください。

○商業誌等から図表等を引用する場合は、著作権を有する出版社等に著者が許諾を得てください。

○図や写真は（図1，図2・・・），表やグラフは（表1，表2・・・）で統一してください。

○図および表にタイトルがある場合は 図1，図2・・・の横にタイトルを記載し、次段より文章を始めてください。

○文章の終わりに括弧を使う際には、括弧の後にピリオドを打ってください。

例) 文末に図や表を表示する場合など

○○にて固定した（図1）。

複数掲載の場合

○○にて固定した（図1，図2）。

○○にて固定した（図1～3）。

○発表者は、論文原稿を以下の構成に沿って作成してください。

【症例報告】

症例報告は「CARE ガイドライン」に準拠し、論点が明確で、理解しやすい内容としてください。

1. 要旨 (Abstract)

発表内容の概要を簡潔に記載してください (250字程度)。

2. はじめに (Introduction)

症例の背景や臨床的意義、報告の目的を明記してください。

3. 症例提示 (Case presentation)

患者情報、身体所見、臨床所見、施術介入情報など、症例の基本情報を時系列で詳細に記載してください。

4. 評価 (inspection)

画像検査等 (例: 超音波エコー) による評価を以下の項目を含めて記載してください。

- 使用機器 (メーカー・型番)
- 検査肢位 (仰臥位・側臥位など)
- 走査方法 (長軸走査・短軸走査など)

- 画像の説明（病態・部位・特徴など）

6. 結果 (Follow-up and Outcomes)

治療経過や症状の変化、再評価の結果などを記載してください。

7. 考察 (Discussion)

症例の臨床的意義、既存文献との比較、施術における課題や限界について考察する。

8. 見解 (Patient Perspective)

患者の見解を記載する。

9. 結論 (Conclusion)

本症例から得られた要点を再確認し、今後の臨床実践や研究への示唆を記載する。

10. 参考文献 (References)

本文中で引用した文献を、日本柔道整復接骨医学会の形式に準じて記載してください。

11. キーワード (Keywords)

「症例報告」を含め2～5つ以内で記載してください。

【研究発表】

研究発表の構成は、【要旨】、【はじめに】、【方法】、【結果・考察・結論】、【参考文献】、【プロフィール】を基準に構成し、論点を明確に記述してください。

対象となる論文の例として以下を参考にしてください。

- 1・施術方法の検討（例：整復手技の比較、固定法の工夫）
- 2・検査・評価法の有用性（例：エコー、徒手検査、MMT、ROM測定）
- 3・教育・研修の報告（例：養成校でのエコー教育、研修会等での評価）
- 4・統計的分析を含む調査研究（例：柔道整復師の世代別に関する探索的研究）
- 5・地域連携・制度提案に関する実践的考察（例：地域包括ケアでの役割）

【関連業務報告論文】

関連業務報告の区分では、柔道整復師による地域貢献・制度的取り組み・教育活動・広報実践など、臨床以外の業務に関する事例や実践内容を対象とします。地域活動、ボランティア、制度提案、教育企画、広報戦略などの取り組みについて、【背景】・【目的】・【方法】・【成果】・【課題】を整理し、論点を明確に記述してください。

- ・地域活動（例：高齢者支援、地域連携など）
- ・ボランティア活動（例：災害支援、健康教室など）
- ・制度提案（例：施術所運営モデル、療養費適正化モデル事案など）
- ・教育関連（例：学生支援、研修企画、若手育成など）
- ・広報活動（例：SNS活用、地域向け情報発信など）
- ・周辺業務への拡大（例：介護・福祉分野での取り組み、美容・健康分野への進出など）

注）括弧：【 】の使用の統一をお願いします。【参考文献】を記載される場合も、半括弧：1) 2) 3)・・・にて使用の統一をお願いします（当論文集参考）。

○【参考文献】の記載方法については、日本柔道整復接骨医学会に準拠してください。

※本文中で文献を引用した場合、文章の右肩に末尾の引用文献にならう番号をつけること。

例) ○○～とされている^{1) 2)}。そして～

ア) 雑誌の場合

著者氏名：論文題目。雑誌名 巻 号：最初～最後頁，西暦年号。

例) ※1) 近畿太郎，日本花子，他：捻挫理論。○○学会誌 14(2)：249-252，1990。

2) 日本二郎，近畿花子，他：脱臼理論。○○学会誌 15(2)：149-152，1995。

イ) 単行本の場合

著者氏名：書名，第○版。発行社名，発行地，西暦年号，頁（引用箇所）。

例) 近畿太郎：打撲臨床論，第3版．柔整出版，東京，2001，416-417．

(英文献の表記に関しては，上記に準ずる．)

ウ) 電子文献(Web サイト)を引用する場合は，URL，参照日時を記載すること．

例) <http://www.kinkigakujutsu./index.html>．

[accessed 2013-5-10]

○演題に英文字表記が含まれる場合は，カタカナの後に () にて英文字表示してください．

例) コーレス(Colles)骨折，コッヘル(Kocher)法など

論文集掲載原稿の提出方法について

論文集掲載原稿は，e-mail で近畿・大阪学術大会 滋賀大会事務局まで提出してください．

なお，論文の本文中に使用される図，表，写真などの取り扱いについては下記を参照し提出してください．

「原稿の中で使用される図，表，写真などの送付方法」

論文に挿入する写真・図・表などは，適切な大きさと文中に貼り付けてデータで提出してください．写真・図・表の枚数は論文集の電子ブック化に伴い制限なしとしますが，枚数が多くなる場合には図表そのものでなくリンク先を掲載することによって図表や動画も掲載可能とします．

なお，「図1」「表1」などの表示位置は，図については下に，表については上に記載してください．※写真などの元データも提出してください．

なお，以下の事柄にもご注意ください．

①原稿データは，各府県で各バージョンの別機器で動作確認の上，提出をお願いします．

②提出されるデータのファイル名を所属，発表者氏名，演題で保存してください．

論文集掲載原稿提出期限：令和8年4月30日(木)必着，(各府県で校正し取りまとめの上，提出)．

提出先 近畿・大阪学術大会 滋賀大会事務局

e-mail：shiga-js@nike.eonet.ne.jp

原稿データなど提出時には，発表される際のパワーポイントデータを一緒に添付しないようにしてください．

論文発表に関する注意事項

1. 発表は，学術委員会準備のPC (Windows) を使用していただきます．

Mac データおよび個人PCのお持ち込みはできません．

2. 発表画面の作成は，画面を横長とし，図表は簡潔にして，後方の席からも明瞭にわかるように工夫してください．

3. PC 発表の準備

(1)円滑なPC発表を行うため，必ず事前に発表データ (Windows: PowerPoint) を提出してください．データ容量の大きいものは，ギガファイル便等の大容量データ送信サイトを利用してください．また，動画を使用される場合は必ず動画ファイルも提出してください．

1) 「PowerPoint」のバージョンは，Windows 版 2013 以降を基本とします．

2) 「PowerPoint」のページ数に制限はありません (発表時間内に収まること) ．

3) 動画

使用可です．ただし，動画のファイル形式は「mp4/m4v/mov」，「wmv」，「mpg/mpeg」のみとし，

これ以外の保存形式の動作は保証いたしません。

動画については、動作確認の上、動画データファイルも必ず提出してください。 詳細は各府県学術担当または滋賀大会事務局にお尋ねください。

4) PC プレゼンテーションデータのページ設定

画面レイアウトの崩れを防ぐため、PowerPoint のページ設定は「画面に合わせる (16 : 9)」にしてください。

5) PC プレゼンテーションに使用するフォントは Windows OS 標準のものを使用してください。

6) 事前収録による発表は、原則 PowerPoint (ナレーション入り) のみ受付けます。 動画へのエクスポートはせずに期日までに提出してください。その他の動画形式については事前に各府県学術担当または滋賀大会事務局に相談してください。発表演題多数の場合は時間の都合により WEB 上のみでの公開となる場合がありますのでご了承ください。

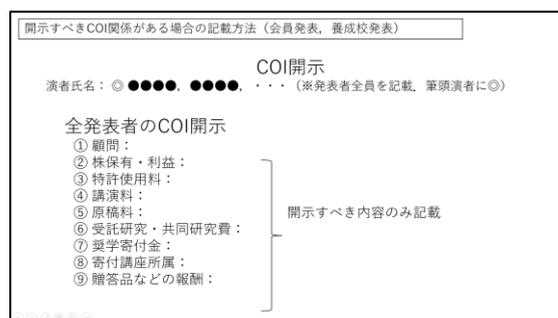
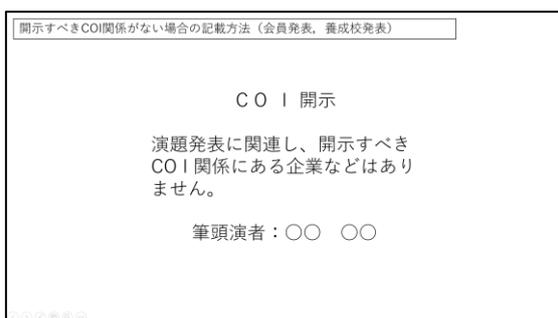
(2) 提出されるデータのファイル名は所属府県名、発表者名、演題名として保存してください。

例：「〇〇府県 柔整太郎 指骨骨折の1症例」

(3) 不測の事態に備え発表当日には、予備のデータメディアを必ずご持参ください。

(4) 発表データは大会終了後、学術委員会で消去します。

(5) 利益相反に関する記載についてスライド 2 枚目に接骨医学会に準拠した記載をしてください。



※各府県にて動作確認の上、提出。

4. 実技発表時の備品として、ベッド、ホワイトボード、上・下肢台は、必要に応じ準備します。その他の備品を持ち込まれる場合は、事前に各府県学術担当または滋賀大会事務局にご連絡をお願いします。なお、持ちこみ備品に関しては各自で管理をお願いします。

5. 大会当日の集合時間、場所などにつきましては後日書面にて連絡します。

6. 発表スライドデータ提出先および締切

令和 8 年 8 月 28 日 (金) までに、近畿・大阪学術大会滋賀大会事務局 e-mail : shigas@nike.eonet.ne.jp に提出してください。

(発表スライドデータにつきましても、各府県で取りまとめて提出願います)。

詳細は、各府県学術担当者または滋賀大会事務局にお尋ねください。